

超小型サブコンピュータの取り付け

マイナーチェンジのたびに燃費や動力性能が進化するハイエースのガソリンエンジンだが、低速トルクが豊かなディーゼルエンジンに比べ加速時の力強さは少し物足りない。静粛性の高さやスムーズな吹き上がりなどガソリンエンジンの優位点はそのままだが、手軽にレスポンスアップを図るアイテムを紹介。トランポやキャンパーなど重架装車にもおすすめだ

文=湯目由明 写真=佐藤亮太

師範
ティビーアウトドアデザイン
菅野勝明さん

辛口の匠だが「純正コンピュータに割り込ませるタイプより装着が簡単で、効果を体感しやすいからカスタム初心者にも勧められるよね」と高評価。

清く・正しく・美しく
泣きを見ない200系遊びの極意

TAKUMI
DIY

こちらも取り付けました
siecle レスポンスリング
価格：7800円～



●ミニコンαと同時に装着したい。本誌vol.30でも紹介したレスポンス向上アイテム。エンジンに空気を送るインテークにアルミ製のリングで「絞り」を設けることで空気吸入の流速が速まり、低速トルクが向上。装着も簡単でスロットルボディにハマ込むだけ

ガソリン車とは思えない力強い加速感を実現



誰だと思ってんだ？
菅野さんだぞ



師範のオコトバ

手軽に装着できて
この変化はすごい

ティピー周辺の普段走り慣れた道を一周した匠。「この加速感はいいね。交差点からの立ち上がりでノーマルとの違いを感じられる。「ディーゼル並みのトルク感」はちょっと言い過ぎだ

けど、アクセルを踏み込んだ時にグワッと背中を押されるような力強さで、重装甲のクルマでも走りが軽くなったような印象を受ける」と評価。車種専用設計で取り付け簡単なものうれしい。

走行シーンによって
サブコンの設定を
細かく切り替えたい
場合は…



●エンジンルーム内に本体を設置すると切り替え操作ができないのでコードを前方に回す



●配線の取り回しやアースを取る場所を工夫すれば本体を足元スペースなどに設置できる



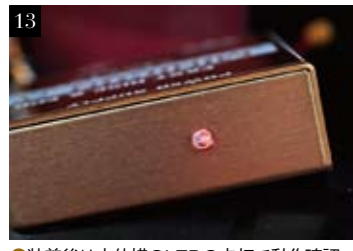
●インジェクター側から伸びる4つのコードを束ねたケーブルと、本体のケーブルを接続



●正常に作動させるために本体から伸びる黒線を金属部分に接続してボディアースを取る



●配線の長さや取り回しを考慮してバッテリー脇に本体を設置。電装品が集中し防水も万全



●装着後は本体横のLEDの点灯で動作確認。イグニッションキーがONの位置で点灯する



●スイッチでモード切り替え。燃費やレスポンス重視など走り方に合わせて制御が選べる

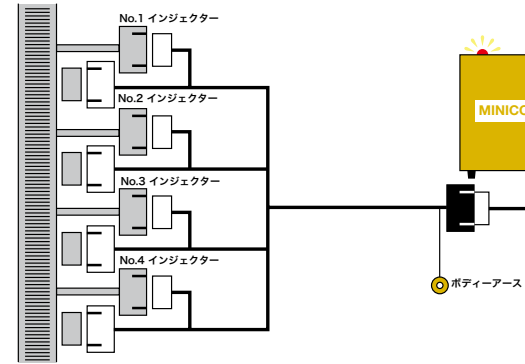
ティピーアウトデザイン
☎0493-27-1020
http://travois.co.jp/



●ネイティブアメリカンが愛用する運搬用ソリの名称「トラヴォイ」をブランド名に冠し、ハイエースをトランポに仕立てるアイテムやコンプレートカーを製造・販売。師匠の菅野さんをはじめ、「ハイエースの匠」たちがカスタムに腕を振るう

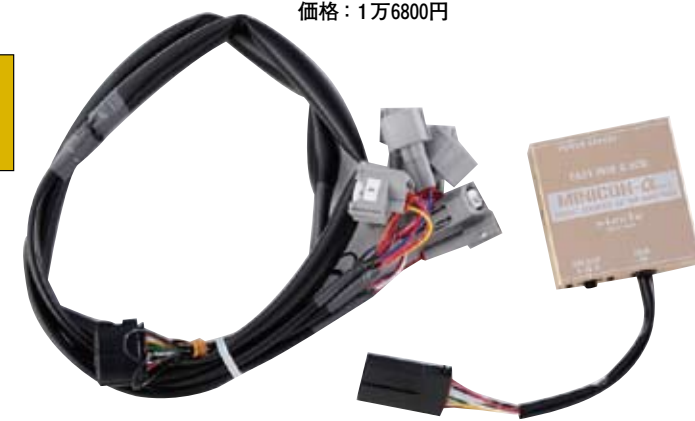
イスを取るのを忘れないこと、ミニコンαのカプラーとインジェクターの番号を合わせるにこだわる。ちなみにインジェクターには番号表示がなく、ファンベルトが付いている側から1→2→3→4の順になる。噴射タイミングは3段階で切り替え可能。全域でのトルクアップからフラットなトルクカーブを生かした燃費走行、レスポンスのよさが際立つスポーツ走行まで幅広く対応する。

接続イメージ



※3気筒車にはNo. 4インジェクターがありません

取り付けるのはこちら
siecle ミニコンα
価格：1万6800円



●インジェクターのカプラー（オス）にミニコンαのカプラー（メス）を接続する



●デリバリーパイプに付けられたインジェクター。走行距離の伸びた車両は固着している可能性がある



●フルキャブオーバーのハイエースはシート下にエンジンが隠れているのでまずは助手席を持ち上げる



●インジェクターのカプラー（メス）にミニコンαのカプラー（オス）を接続し、割り込ませる



●エンジンが低温になったらインジェクターのカプラーを抜く。ツメで両側からロックがかかる仕組み



●スロットルボディとインテークがインジェクターを隠し作業しにくいのでネットを緩めスラしておく



●インジェクターには番記がないが、フロント側からNo. 1→2→3→4となる。すべてを接続する



●ミニコンαのカプラーには接続する気筒が分かりやすいように番号が貼ってある。ハイエースは4つ



●吸い込んだ空気をエンジンに送るインテークを横にずらすとインジェクターに手が届きやすくなる

TAKUMI
DIY

インジェクターにカプラー
オンで劇的変化

力強い加速に
してくれい!



ハイエースのパワーユニットは3ℓのディーゼルトンボと2.7ℓ、2ℓのガソリンエンジン2種。低回転域から豊かなトルクが沸き上がる。ディーゼルトンボはフル積載のトランポや重装甲のキャンピングカーに最適だが、ガソリンとの価格差が大きく（SGL2WDで2ℓガソリンの49万円高）、設定車種も限られる。本命はディーゼルだけ値段が高くてお目当てのトランポやキャンパーへの設定がない。もしくは、ガソリン車に乗っていて発進・加速時のトルク&パワー不足が気になるというユーザーの不満を解消してくれるアイテムが、シエクルのミニコンαだ。ミニコンαはエンジンのレスポンス向上や燃費改善を目的にフェューエルインジェクターの噴射タイミングを制御するミニサブコンピューター。エンジンに燃料を供給する際、ガソリンを霧状にして気化させることで燃焼を促進させるパーツが燃料噴射ノズルを備えたインジェクターだ。燃料を噴射する量や噴射するタイミングはコンピューターで制御している。燃料の噴射量を変えずタイミングのみを制御する仕組みだから構造もとてもシンプル。取り付けも簡単で、燃料を供給するフェューエルパイプとインジェクターをつなぐデリバリーパイプからインジェクターのカプラーを抜き、気筒ごとに番号が割り振られた（ハイエースは4気筒なので計4つ）ミニコンαのカプラーを割り込ませるだけ。使う工具は10mmのソケットレンチだけで済み、DIYでも気軽に取り組める。あえて注意点を記すとボディア